真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 水道施設整備推進事業 | 担当課・係 | 上下水道部　水道課　工務係 |
| 政策名　No | 4　「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～ | 関連する SDGs･DX |  |
| 施策名　No | 5　安定した上下水道サービスの提供 | | |

| 成果指標 | 名　称 | 単　位 | 初年度からの実績値の比較 R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | 目標値 R11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 水道事業の計画区域内人口普及率 | % | 90.38 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

**事業内容**

安全・安心な水道水を供給するため、計画的・効率的な管路の布設を進めるとともに、より良質な水道水を供給するための施設整備を行う。
①配水管拡張
・新規道路や区画整理等の整備に合わせた配水管の布設。
・区からの要望による配水支管の拡張。
・拡張工事に伴う設計業務、水道台帳更新。
・アセットマネジメント、水道ビジョン策定。
②水道施設整備
・浄水場等の機能増強。
・機能増強に伴う計画、設計業務。

**前年度の課題（Check）**

・未普及区域に水道水の供給を図る。
・濁り水解消のため、原因となる鉄やマンガンを除去する装置の設置についての検討をする。

**7年度振り返り**

【1】実績（Do）　7年度に実施した事業
①配水管拡張
・産業団地内配水管布設　L=378.4m
・長島地内配水管布設　L=358.0m
・荒町二丁目地内配水管布設　L= 98.0m
・配水支管拡張（要望）　L=366.7m
・舗装復旧　A=574m²
・水道台帳（GIS）更新　配水管1,437m、給水449件

②水道施設整備　・鉄・マンガン除去装置設置にむけて、実証実験を行い除去効果があることを確認した。
実験機設置及び準備期間：11～1月。実証実験期間：2～3月。

【2】結果と課題（Check）
①配水管拡張
要望に伴う配水支管拡張については、予算の想定を超える要望があったが他の執行残により対応できたが余裕をもった予算要求が必要。
予算額11,305千円に対し、執行額13,365千円。

②水道施設整備
鉄・マンガン除去について、装置設置費用が高額であるため費用対効果が最大限発揮できる規模・能力を選定する必要がある。
令和9年度に着工、令和10年度末運用を目指す。

**今後の方向性と具体策**

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　■ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
①配水管拡張
需要に応じて、費用削減を念頭に置き、遅滞なく安全に業務を遂行する。

②水道施設整備
鉄・マンガン除去装置の必要性を市長へ説明し、設計業務を実施する。

(2) 長期的な計画で検討すること
①配水管拡張
令和８年度中にアセットマネジメントを作成し、水道ビジョンで掲げた基本的方針を実現するため効率的かつ効果的な資産を管理し安定運営を目指す。

②水道施設整備
安全安心な水道水を供給するため、令和８年度に鉄・マンガン除去装置の実施設計、令和９年度に工事着手、令和10年度末の除去装置稼働を目指す。